

1 幼稚園

NO.	テーマ等	人権教育の視点等
(1)	おたんじょうかい	1－(2)－ア 自尊感情の形成 2－(1)－ア 生命の尊厳についての学習
	【活動対象領域等】 健康、人間関係、環境、 言葉、表現	【対象学年】 幼児

1 ねらい

- (1) 家族や身の周りにいる人から話を聞き、周りの人から愛されていることや大切にされていることに気づく。また、絵本等の教材を活用し、生命の大切さにも気づく。
- (2) 誕生を祝ってもらったり祝ったりすることを通して、大きくなることへの喜びや期待をもつ。
- (3) 誕生会を通して、たくさんの人に支えられ守られていることを知り、周りの人への感謝の気持ちをもつ。
- (4) 友だちの誕生を祝うことで、友だちのよさに気づき、また自分も大切にされていることに気づく。

2 指導にあたって

- (1) 幼稚園・こども園・保育所は「親と子の育ちの場」としての役割を担っている。子どもたちの健やかな成長のためには、保護者が子育てに喜びや自信をもつこと、また育っていく喜びや楽しみを感じられるような工夫が求められている。そこで、誕生会などの機会を通して、生まれてきたときの気持ちや小さな頃の話聞き、周りの人に支えられて大きくなってきたことや、大切にされていることに気づき、命の大切さや思いやりの心を育てる機会とする。また、保護者が子育ての喜びを感じることで、家庭と連携し、子どもたちの成長を支援する。

なお、誕生月に欠席をした子どもに対しては、可能な限り次月に祝うなどの配慮が必要である。

- (2) 両親から自分が生まれてきたこと、きょうだい・祖父母・親戚などから大切にされていることに気づくことができるように、命の誕生のすばらしさ、お母さんのおなかの中から生まれてきたこと、周りの人々が楽しみに待っていたことがわかるような絵本や写真など視覚教材を活用し、指導する。
- (3) 子どもの育ってきた環境はさまざまである。一人一人の家庭環境や背景に十分に配慮することが必要である。また、小さい頃の思い出の品などは、各家庭によって違いがあることを念頭におき、十分に配慮して指導する。
- (4) 保護者同士のつながりや子育てに対する喜びや不安などを話し合える機会となるように、誕生会の前後に、所属長等を交えて、誕生月の保護者同士が話をする時間、バー

スデートーク等を取り入れることで、本時の指導を深めることができる。

- (5) 保護者が子どものよさに気づく機会や、保護者同士がつながり合える機会となるように支援する。また、生まれてきたときの思いや子どもたちの育ちに目を向け、心にゆとりをもって、かかわることができるように支援する。

3 指導計画（全1時間）

- (1) 誕生児が自己紹介をする
- (2) 家族や周りの人の話を聞く
- (3) 友だちに祝ってもらう
- (4) 誕生月の友だちを祝う

4 展開例

おたんじょうかい保育指導案

- (1) 本時の目標
家族や周りの人から愛されている、大切にされていることを理解する。
友だちの誕生日を祝い、大きくなることへの喜びや期待をもつ。
- (2) 準備物
誕生児を祝う飾りつけやボード、小さい頃の思い出の品、絵本など
- (3) 展開

活 動 内 容	◎環境の構成 ☆教師の援助	教師の読み取り
1 誕生児が入場する。 ・月ごとの司会がアナウンスする ・リズムに合わせて律動をしながら入場する ・自己紹介をする	◎誕生児が期待をもって入場できるように、掲示物等準備する。 ☆誕生児や司会者が自信をもって話をするように、日々の生活の中で認めたり励ましたりする。 ☆自分以外の人の話も聞こうとする気持ちに気づくよう声をかけ見守る。 ☆皆の前で話をするに対して不安な気持ちから声が小さくなる園児には、マイクを用意する、事前に声かけを行うなど、配慮する。	・自分なりの言葉で話そうとしている。
今日はみんなで〇〇月の友だちの誕生日を祝おう。 自信をもって自己紹介できたね。 友だちのすてきなところを見つけたね。		
2 家族等の話を聞く。 ・自己紹介をする ・小さな頃のエピソードや、今の気持ちなどを聞く	◎大勢の前で話すことが苦手な方には、事前に手紙を書いてきてもらうなどの配慮をして、皆が安心して参加できるようにする。	

	☆小さな頃の写真や洋服などを、実際に見ることで、大きくなった喜びや大切に育てられている感謝の気持ちにつながるよう、園児に寄り添い、喜びを共感する。 ☆育った環境は一人一人違い、さまざまな家庭の事情や背景があることに配慮する。 ◎約10ヶ月間、お母さんのおなかの中で過ごしてきたことや、周りの人が期待して待っていたことがわかる絵本などを準備しておく、必要に応じて活用する。	・自分の成長には、家族や身の周りの人がかかわってくれていることを知り、喜んでいる。
3 誕生児を祝う。 ・歌を歌う ・祝いの言葉を伝える	☆家族以外の友だちや教師、周りの人に祝ってもらうことで、生まれてきた喜びや祝福される喜び、自分は大切にされているという気持ちに気づくことができるよう、声をかけ、喜びを共感する。 ☆誕生児を祝い、自分の周りにいる友だちがともに大きくなっていく喜びを共感させる。また、祝う喜びから友だちへの優しさや思いやりの気持ちへとつながるように支える。	・大きくなる喜びや大切にされていることに気づく。
4 誕生会を振り返る。 ・次月の誕生会について話を聞く ・自分の誕生会にも期待をもつ	☆誕生児を祝ったり、友だちに祝ってもらったりしながら、誕生したことを互いに喜び合えるよう声かけをする。 ☆誕生会に期待や喜びを感じることができるように声をかける。また、期待や喜びを感じる園児の気持ちに共感する。	
周りの人に感謝の気持ちをこめてありがとうを伝えよう。 あなたの誕生日もお祝いするよ、楽しみにしていてね。		
5 振り返りとまとめをする。	☆次月の誕生会に期待がもてるように言葉をかける。	

Point

さまざまな家庭環境や背景があることを踏まえ、時には教師が園児に対して、生まれてきてくれたこと、幼稚園・こども園・保育所でともに過ごせることについて、嬉しい思いや喜びを抱いたことなど、自分の思いを伝えることも必要である。